

地点の絞り込み・選定において重要と考えられる評価項目

評価項目		実施手順			実施対象			補足
		ポテンシャル調査	導入可能性調査		河川	ダム	砂防堰堤	
区分	内容	机上調査	現地調査	事業性評価 (カルテ作成)				
流量	発電に利用できる流量（取水量）	●	●	●	●	□	●	・机上調査：既往算出流量を利用 ・現地調査：目視で確認 ・事業性評価：既存データを用いて精査
落差	有効落差	●	●	●	●	□	●	・机上調査：既往設定値を利用 ・現地調査：目視で確認 ・事業性評価：既存資料より再設定
アクセス性	既存道路の状況 幅員 3m 以上の道路の有無	●	●	●	●	□	●	・現地調査では、道路と河川や砂防堰堤の比高や道路の冬期閉鎖の有無も確認する
電力系統状況	送電線・配電線の有無、既設系統の有無、電圧・容量・発電所からの距離等	●	●	●	●	□	●	・発電地点近くに道路があると近隣に電力柱も整備されていると考えられることから、河川の机上調査では、近傍道路までの距離(250m)を指標として電力系統状況进行评估
発電出力	流量と落差より算出	●		●	●	○	□	
建設単価	水路ルートを選定に利用 最大使用水量、有効落差、発電出力、発電電力量、概算工事費より算定	●		●	●	○	○	・「中小水力発電計画導入の手引き」にて推奨する「建設単価に基づく水路ルート（取水位置、導水路、発電所等の位置）の選定」についても河川の机上調査にて検討を行うこととする。
発電所設置スペース			●	●	●	●	●	
施工ヤードの確保			●		●	●	●	
地盤	軟弱地盤や過去に洪水や地滑り、土砂崩れ等が発生した場所でないか			●	○	○	○	・先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価（カルテ作成）において利用する
洪水流に対する安全性	洪水の安全な流下を阻害しない		●		●			・現地調査では目視にてリスクを確認する。
他の利水者への影響配慮	内水面漁業権の有無 農業用水等の既設取水への影響		●	●	●		●	・漁業権の有無については、先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価(カルテ作成)において利用する
河川水の利用状況	既得水利権、慣行水利権の有無 河川を利用したレクリエーション施設等の有無		●	●	○	○	○	・水利権の有無については、先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価(カルテ作成)において利用する ・レクリエーション施設の有無は、現地調査にて目視で確認する。
河川環境への影響配慮	魚類の遡上降下への影響 減水区間の有無、距離		●	●	●		●	・現地調査では目視にてリスクを確認する。
法規制	自然公園法等	●		●	●	(●)	●	・砂防堰堤、河川の机上調査では、REPOS の推計除外条件（※1）を適用 ・ダムについては、放流設備への発電施設設置を想定しているため用地に関する法規制の制約は生じにくい
その他の開発計画	宅地開発、道路計画、観光開発、河川改修計画の有無			●	○	○	○	・先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価（カルテ作成）において利用する
土地の所有状況				●	○	○	○	・同上
水質（濁り等）				●	○	○	○	・評価対象近傍のデータが少ないこともあり、先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価（カルテ作成）において利用する
需要先の状況	需要施設・設備容量の有無等		●	●	●	○	○	・現地調査では周辺状況から需要先の候補の有無を確認
地元の協力				●	○	○	○	・先行事例を参考に、有望地点選定の段階では利用せず、事業性評価（カルテ作成）において利用する

●：実施対象における机上調査、現地調査、事業性評価で利用 ○：実施対象における主に事業性評価で利用 □：実施対象における主に現地調査、事業性評価で利用

※1 REPOS の推計除外条件
自然公園区域（国立公園） ※特別保護地区、第1種特別地域 自然公園区域（国定公園） ※特別保護地区、第1種特別地域 都道府県立自然公園（第1種特別地域） 原生自然環境保全地域
自然環境保全地域（国指定） 自然環境保全地域（都道府県指定） 鳥獣保護区（国指定） ※特別保護地区 鳥獣保護区（都道府県指定） ※特別保護地区 世界自然遺産地域

地点の絞り込み・選定において重要と考えられる評価項目

評価項目		実施手順			実施対象			補足
		ポテンシャル調査	導入可能性調査		河川	ダム	砂防堰堤	
区分	内容	机上調査	現地調査	事業性評価 (カルテ作成)				
不透過型	透過、部分透過を除外	●	●				●	
流域面積	流域面積 2 km 2 未満の堰堤を除外	●					●	
堰堤の高さ（有効落差）	有効落差	●					●	
堆砂状況			●				●	・満砂又はそれに近い状態となっているほうがより高い位置から取水できる
魚道	魚道がない堰堤を抽出	●	●				●	
表流水	表流水が確認できる堰堤を抽出		●				●	・砂防堰堤の水通しからの越流水の状況を確認
他の取水施設の減水区間	他の取水施設の減水区間でない堰堤を抽出	●	●				●	
設置目的	ダムを対象に、発電未利用の有無を確認	●				●		
既存取水・放流施設の状況	利用可能な設備の有無を確認	●	●		●	●	●	・河川では取水施設、落差工の有無を確認 ・砂防堰堤では取水施設の有無を確認 ・ダムでは放流施設の有無を確認
施設健全度	ダム：ダムの改修計画の有無 砂防堰堤：老朽化、損傷の有無		●			●	●	・既存施設の活用を想定しているダム及び砂防堰堤を対象とする
施工期間	発電設備の規模等から施工に要する期間の長短を評価		●			●		・出水期・渇水期など施工時期に関する制約について、特にダム運用への影響が大きいと想定されることから評価

●：実施対象における机上調査、現地調査、事業性評価で利用 ○：実施対象における主に事業性評価で利用